

授 業 科目名	手形・小切手法Ⅱ	※選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	“ 総仕上げ 手形・小切手法 ”		担当者	織田 恭一		
講義概要	<p>【概要】 手形・小切手法は、企業社会に就職しようとする学生や、各種国家試験に挑戦しようとする学生、或いは、既に企業社会で活躍されている一般社員から取締役に至るまで、ぜひとも学んでおかなければならない重要な法律である。</p> <p>そこで本講義では、「手形・小切手法Ⅰ」で習得した基礎的知識及び法理論をもとに、実践的な知識や応用理論を学び、さらに理解を深めます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>手形法・小切手法の実践的知識及び法理論の習得と各種国家試験に対応できる水準を目標とします。</p>					
履修条件	企業への就職を考えている者又は各種国家試験に挑戦意欲のある者					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 織田恭一 著 「手形法・小切手法」(ビジネス教育出版社)</p> <p>【参考書】 特になし</p>					
授業回数	内容					
1	満期前における支払					
2	満期後における支払					
3	遡求Ⅰ					
4	遡求Ⅱ					
5	消滅時効					
6	利得償還請求権					
7	手形交換制度と法の関係					
8	不渡り処分制度					
9	預託金の譲渡・差押え・相殺					
10	公示催告と除権判決					
11	異議申立提供金制度					
12	小切手					
13	線引小切手					
14	手形交換制度と法との関係					
15	手形交換制度と不渡り処分制度					
評価方法	原則として後期試験によるが、出席状況も考慮します。					
評価基準	上記授業の内容について、よく理解・表現できた者には「A」を与える。内容についての理解や表現が不十分である者はその程度に応じて「B」または「C」とし、内容についての理解自体が一定の基準に達していない者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	<p>真に実力をつけたい学生は、極力、出席すること。</p> <p>※Eカリキュラム（経営法コース）の学生は選択必修科目</p>					